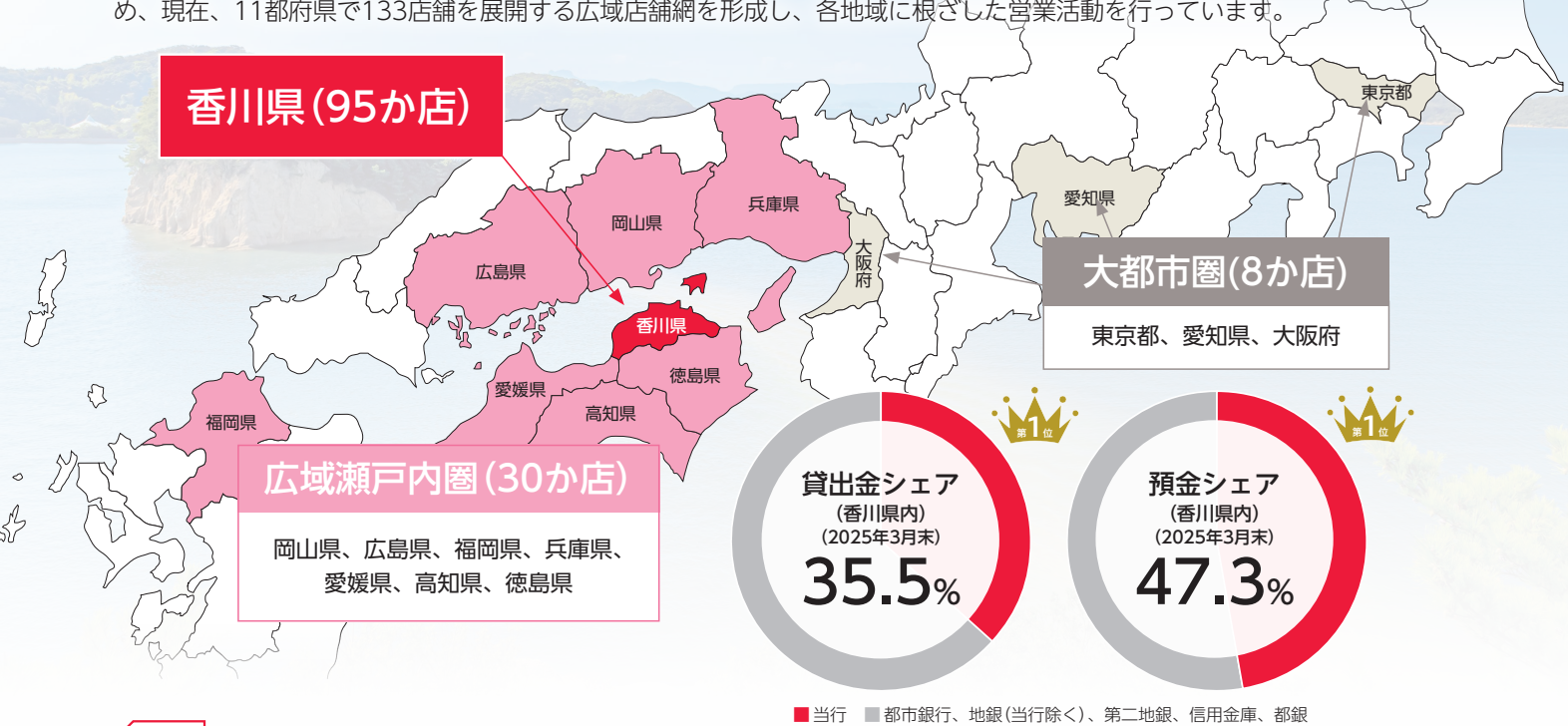


百十四グループの強み

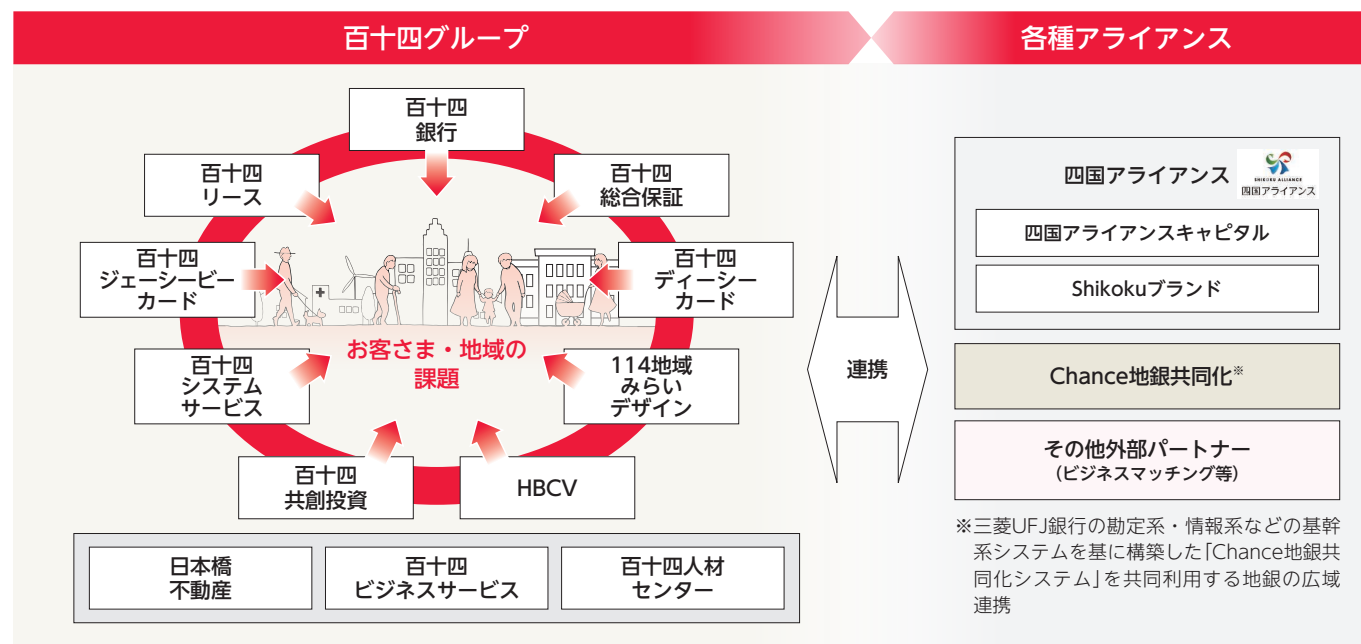
1 広域ネットワークと強固な顧客基盤

香川県を基盤とする地方銀行ですが、早くから県外への出店を進めてまいりました。1923年に初めて県外四国地区に出店。本州地区には、県外の地方銀行としては第1号となる1950年の大阪地区への出店を皮切りに、東京、岡山、広島へと出店を進め、現在、11都府県で133店舗を展開する広域店舗網を形成し、各地域に根ざした営業活動を行っています。



2 グループ総合力

銀行業務を中心に、リースやカード業務をはじめとする伝統的な金融分野に加え、近年では、多様化する地域やお客さまが抱える課題に対して百十四グループならではの価値を提供するため、海外コンサルティング現地法人や地域活性化事業会社といった新たな業態の会社を設立してまいりました。お客さまにとって新たな価値を生み出し、最適なソリューションを提供するため、四国4県の地方銀行による四国アライアンスをはじめ、外部とのアライアンスも幅広く活用することで、グループ総合力の強化を図っています。



3 地元香川県のポテンシャル

当行の地元である香川県は、日本で一番面積の小さい県ですが、災害の少なさと交通インフラの充実に加え、様々な分野で特色を備えている地域であるとともに、産業や観光分野では海外からも注目されており、高いポテンシャルを秘めています。

●基礎データ



●交通インフラ



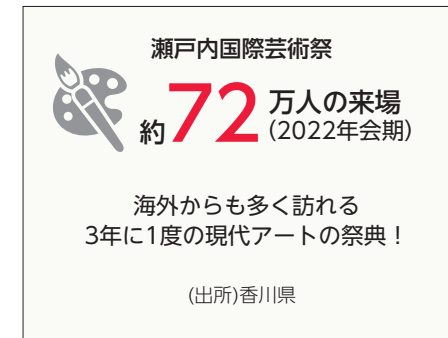
●災害



●家計



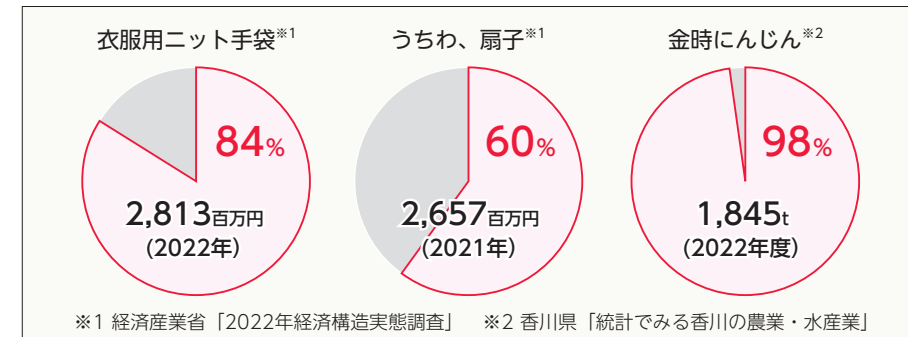
●文化・芸術



●特産品



●その他、全国シェア1位の工業製品・農水産物



●番外～四国編～

